

地元住民一体となった取組によるイノシシの被害防止対策

1 要旨

宇部市藤ヶ瀬地区は、市の北部に位置し、水稻を中心に各種野菜の農業生産が行われている。イノシシによる食害を防止するため、地区住民が各自で防護柵の設置を行ってきたが、近年では、破損箇所からのイノシシの侵入が多発し、農作物の被害が多くなっている。このため、地元住民が一体となって、緩衝帯を設け、新たなワイヤーメッシュ柵を設置し、見回りや草刈りなどの管理を継続して行う。また、箱罠を設置し、イノシシを捕獲する。

2 地区の概要

地 区 名	宇部市西吉部藤ヶ瀬地区
主な作物	水稻
加害獣種	イノシシ
対策実施年度	令和3年度



3 被害の状況と課題

地区内の1割程度の水田で稲穂の食害やぬた遊び（異臭被害）・畦畔の掘り起こし、水路の埋立てが発生している。また、侵入痕跡が複数あり、地区内で被害が分散している。



4 取組内容

（1）防護対策

新たなワイヤーメッシュ柵を地区内の対象区域に設置する。ワイヤーメッシュ柵の設置後は、地元住民による見回りや草刈りなどの管理を継続し

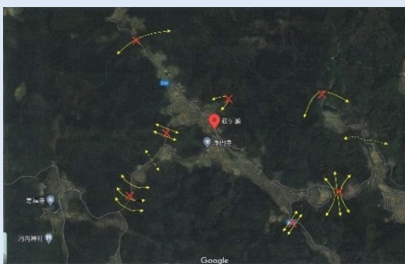
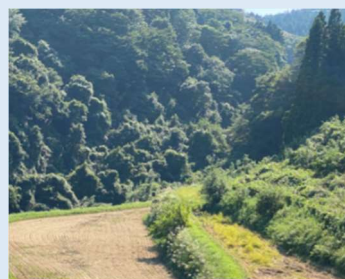
て行う。

(2) 生息地管理対策

山際の竹、木、葛等の整理により緩衝帯を設ける。

(3) 捕獲対策

効率的にイノシシの捕獲が可能な場所に箱罠を設置し、イノシシを捕獲する。



5 取組の成果

集落関係者や猟友会、関係機関と連携し、地域一帯で被害防止への対応ができる活動体制ができた。



【被害額】

(千円)

区分	事業 実施前	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	300	30	▲270	10	▲290	—	—

6 地区代表者のコメント

地区住民の高齢化に伴う耕作放棄地増加により猪害が多発し、個人や小グループでは対応しきれないのが現状だったが、地区全体にワイヤーメッシュ柵を設置することができ、効果的な防猪対策ができた。今後は、情報を共有しながら、設備の維持・管理を適切に行い、ゼロ被害を目指していきたい。

7 今後の取組

新規防護柵設置後は、定期的に、地域で、見回り、草刈り、補修を行う。また、草刈などによる緩衝帯の整備や猟友会と連携して箱わなの設置を行う。